

オンサイト利用の試行運用 に当たっての基本的な考え方

平成 28 年 12 月 8 日
総務省政策統括官（統計基準担当）、統計局
独立行政法人統計センター

1 目的

中央データ管理施設と SINET 環境で接続したオンサイト施設において、試行運用版のガイドライン・各種基準の下、調査票情報を用いた研究利用を行い、課題の洗い出しを行うことにより、本格運用に向けた制度面、技術面のブラッシュアップを図る。

2 内容

(1) 参加拠点（開設予定時期）

情報・システム研究機構（平成 29 年 4 月以降）、一橋大学（平成 29 年 1 月）、神戸大学（平成 29 年 1 月～2 月）、滋賀大学（平成 29 年 4 月以降）

(2) 中央データ管理施設

（独）統計センターが整備・運営

※ 中央データ管理施設等の運用方針は別紙のとおり。

(3) 開始時期

平成 29 年 1 月以降、準備の整った拠点から順次開始

(4) 提供する調査票情報

総務省統計局の実施する統計調査のうち、準備が終わったものから順次提供

(5) 費用

- ・オンサイト施設管理者側で、利用者 PC、ネットワークカメラ関係、ルータ等の初期費用と、回線利用料等の運用費用を負担
- ・施設利用者側の負担は当面なし（本格運用に向け、ソフトウェア・保存領域確保等の実費負担について検討）

3 今後の予定

平成 30 年 1 月目途で本格運用開始（開始時 10 拠点程度。段階的に拡大）